

海田町木造住宅耐震化促進支援事業補助金交付申請書

海田町木造住宅耐震化促進支援事業補助金の交付を受けたいので、海田町木造住宅耐震化促進支援事業補助金交付要綱第8条第1項の規定により、別紙のとおり関係書類を添えて申請します。

☒耐震改修工事（☒居住誘導区域内・☐居住誘導区域外）

☐現地建替え工事（☐居住誘導区域内）

☐非現地建替え工事（☐新たに建築する住宅は居住誘導区域内）

☐除却工事（☐居住者が次に居住する住宅は町内かつ、地震に対して安全な構造・
☐居住者なし）

☐耐震シェルター設置工事

金 1, 150, 000円

金 2, 000, 000円

所在地（地名地番）		安芸郡海田町上市 7 7 - 1	
用途・規模		☐ 一戸建ての住宅 （床面積： m ² ） ☒ 併用住宅 （床面積： 120.00 m ² ） （住宅以外の部分の床面積： 40.00 m ² ） （住宅以外の部分の用途：美容院 ）	
建築年月日（着工）		昭和 5 4 年 7 月 7 日	
階数・構法		階数： 2 階建て	構法：木造軸組構法
申請者		☒ 所有者 ☐ 居住者	
診断結果	☒ 耐震診断による上部構造評点（最小値） ☐ 誰でもできるわが家の耐震診断の評点の合計		0 . 3 6 点 割
	☐ 容易な耐震診断調査票の壁の割合		

※ 診断結果は、該当する診断の□にチェックし、評点等を記入してください。

5 補助対象事業の予定期間

令和7年 5月22日～ 令和7年11月21日

6 耐震改修工事等、現地建替え工事、非現地建替え工事及び除却工事の概要

設計者	建築士 資格者登録番号	一級建築士第000000号
	名前	海田 二郎
	事務所名称	海田建築設計事務所
	事務所登録番号	広島県知事 登録00(0)第00000号
	事務所所在地	広島県安芸郡海田町南昭和町14-17
	電話番号	(082) 823-3157
工事 監理 予定者	建築士 資格者登録番号	一級建築士第000000号
	名前	海田 二郎
	事務所名称	海田建築設計事務所
	事務所登録番号	広島県知事 登録00(0)第00000号
	事務所所在地	広島県安芸郡海田町南昭和町14-17
	電話番号	(082) 823-3157
工事 施工 予定者 改修・建築	代表者名前	海田建設株式会社 代表取締役 海田 三郎
	営業所名	本店
	建設業の許可	広島県知事 許可(般-00)第00000号
	所在地	広島県安芸郡海田町南昭和町14-17
	電話番号	(082) 823-3157
施工 予定者 除却工事	代表者名前	
	営業所名	
	建設業の許可	
	所在地	
	電話番号	
耐震改修後の上部構造評点 (最小値)		1.20
新たに建築する住宅の 所在地(地名・地番)		
住み替える住宅の所在 地(住居表示)		

※該当する箇所のみ記入してください。

(添付書類) 添付する書類の□をチェックしてください。

- ☒ (1) 所有者及び建築時期が確認できる書類
- ☒ (2) 工事見積書又はその写し
- ☒ (3) 町税等納付証明書又は個人情報目的外利用同意書（様式第2号）
- ☒ (4) 現に居住の用に供していることが確認できる書類又は個人情報目的外利用同意書（様式第2号）
- ☒ (5) 現況の写真
- ☒ (6) 工事計画書（付近見取図及び配置図を含む。）
- ☒ (7) 耐震診断結果報告書の写し（現地建替え工事，非現地建替え工事及び除却工事の場合，簡易耐震診断結果の写しとすることができる。）
- ☒ (8) 耐震改修計画書（様式第3号）（耐震改修工事の場合）
- ☐ (9) 新たに建築する住宅の設計図書
- ☐ (10) 所有者同意書（様式第4号。申請者が所有者でない場合）
- ☒ (11) アンケート
- ☒ (12) 前各号に掲げるもののほか，町長が必要と認める書類

様式第2号（第8条関係）

令和7年4月1日

海 田 町 長 様

個人情報目的外利用同意書

申請者 住 所 安芸郡海田町南昭和町14-17
氏 名 海田 太郎
電話番号 (082) 823-3157
(2000年 10月 10日生)

私は、海田町木造住宅耐震化促進支援事業補助金交付要綱第8条第3項の規定による、個人情報の目的外利用により次の必要な情報を直接収集されることに同意します。

- ・町税等（延滞金を含む）の納付状況
- ・住民票抄本

様式第3号（第8条及び第10条関係）

耐震改修計画書（新規・変更）

申請者の氏名		海田 太郎							
採用した耐震診断の診断法		・一般診断法 ☒ 方法1 ☐ 方法2 ・精密診断法 ☐ 精密診断法1（保有耐力診断法） ☐ 精密診断法2 保有水平耐力計算・限界耐力計算・時刻歴応答計算							
耐震改修工事等の施工前	上部構造評点の最小値	階	方向	強さP (kN)	配置等による低減係数E	劣化度D	保有する耐力Pd(kN)	必要耐力Qr(kN)	上部構造評点
	0.36	2	X	18.34	1.000	0.70	12.83	17.39	0.73
			Y	20.69	1.000	0.70	14.48	17.39	0.83
		1	X	41.68	0.882	0.70	25.73	60.83	0.42
			Y	31.30	1.000	0.70	21.91	60.83	0.36
採用する改修方法	☐ 一般耐震改修 ☐ 段階的耐震改修（ ☐ 一段目 ☐ 二段目） ☐ 耐震シェルター								
耐震改修計画の概要	上部構造評点の最小値	階	方向	強さP (kN)	配置等による低減係数E	劣化度D	保有する耐力Pd(kN)	必要耐力Qr(kN)	上部構造評点
	1.20	2	X	26.48	1.000	0.89	23.56	17.39	1.35
			Y	25.92	1.000	0.89	23.06	17.39	1.32
		1	X	82.26	1.000	0.89	73.21	60.83	1.20
			Y	85.32	1.000	0.89	75.93	60.83	1.24
	強さPに関する措置	建物外周部及び間仕切り壁に構造用合板を均等に配置する							
	配置等による低減係数Eに関する措置	1階X方向の耐力壁の補強をバランス良く行い重心と剛心を近づける							
	劣化度Dに関する措置	劣化が認められる部材を取り替える							
	地盤及び基礎に関する措置	地盤及び基礎は現状を使用する							
	その他の措置								
耐震改修等工事費及び交付申請額（全て税抜）	総額（A+B）		補助対象費用（A）		補助対象外費用（B）				
	3,000,000 円		2,000,000 円		1,000,000 円				
	交付申請額					1,150,000 円			
備考									

注 該当する項目の□欄にチェックをし、又は○で囲むこと。

様式第4号（第3条関係）

令和7年4月1日

海 田 町 長 様

所有者同意書
（申請者が所有者でない場合）

所有者 住 所 安芸郡海田町中店8－24
氏 名 海田 花子

私は、次の住宅の所有者として、海田町木造住宅耐震化促進支援事業補助金交付要綱第3条第2項の規定により、次の者が当該住宅の耐震改修工事その他要綱に定める手続きを行うことについて同意します。

住宅所在地 安芸郡海田町南昭和町14－17

申請者住所 安芸郡海田町南昭和町14－17

申請者氏名 海田 太郎

令和 7 年 6 月 1 0 日

海 田 町 長 様

海田町木造住宅耐震化促進支援事業補助金交付変更申請書

住 所 安芸郡海田町南昭和町 1 4 - 1 7
申請者 氏 名 海田 太郎
電話番号 (0 8 2) 8 2 3 - 3 1 5 7

令和 7 年 4 月 1 6 日付け指令海まち第 0 0 0 号で補助金の交付の決定を受けた海田町木造住宅耐震化促進支援事業について、次のとおり変更したいので、海田町木造住宅耐震化促進支援事業補助金交付要綱第 1 0 条第 1 項の規定により申請します。

変更の内容	変更前	耐力壁④（X1通り，Y2-3間）	
		耐震改修工事に要する費用の見積額	金 <u>2,000,000円</u>
	変更後	耐力壁④（X1通り，Y3-4間）	
		耐震改修工事に要する費用の見積額	金 <u>2,000,000円</u>
変更の理由	窓位置変更に伴う耐力壁④の移動		

（添付書類）添付する書類の□にチェックをしてください。

- ☒ (1) 変更後の耐震改修計画書（様式第 3 号）
☒ (2) 当該変更に係る内容が確認できる書類

令和 7 年 7 月 7 日

海 田 町 長 様

海田町木造住宅耐震化促進支援事業補助金取止届出書

住 所 安芸郡海田町南昭和町 1 4 － 1 7
申請者 氏 名 海田 太郎
電話番号 （ 0 8 2 ） 8 2 3 － 3 1 5 7

令和 7 年 4 月 1 6 日付け指令海まち第 0 0 0 号で補助金の交付の決定を受けた海田町木造住宅耐震化促進支援事業について，次のとおり取り止めたいので，海田町木造住宅耐震化促進支援事業補助金交付要綱第 1 0 条第 3 項の規定により届け出ます。

取止の理由	諸事情により工事を取り止めるため。
-------	-------------------

令和 7 年 1 1 月 3 0 日

海 田 町 長 様

海田町木造住宅耐震化促進支援事業実績報告書

住 所 安芸郡海田町南昭和町 1 4 - 1 7
申請者 氏 名 海田 太郎
電話番号 (0 8 2) 8 2 3 - 3 1 5 7

令和 7 年 4 月 1 6 日付け指令海まち第 0 0 0 号で補助金の交付の決定（変更）を受けた補助金に係る補助事業が完了したので，海田町木造住宅耐震化促進支援事業補助金交付要綱第 1 1 条第 1 項の規定により，その実績を報告します。

1 補助事業の名称

令和 7 年度海田町木造住宅耐震化促進支援事業

2 補助事業の実施期間

令和 7 年 5 月 2 2 日から 令和 7 年 1 1 月 2 1 日まで

（補助対象事業）該当する工事に□にチェックをしてください。

- ☒耐震改修工事 （☒居住誘導区域内・☐居住誘導区域外）
☐現地建替え工事 （☐居住誘導区域内）
☐非現地建替え工事（☐新たに建築する住宅は居住誘導区域内）
☐除却工事（☐居住者が次に居住する住宅は町内かつ，地震に対して安全な構造・
□居住者なし）
☐耐震シェルター設置工事

交付決定金額	金 1 , 1 5 0 , 0 0 0 円
--------	-----------------------

（添付書類）添付する書類の□にチェックをしてください。

- ☒ (1) 工事着手前，工事中及び完了時の状況のわかる写真
☒ (2) 補助対象事業に係る契約書，請求書及び領収書の写し
☐ (3) 検査済証の写し（補助対象事業が現地建替え工事又は非現地建替え工事の場合）
☒ (4) 工事監理報告書（様式第 1 1 号）（除却工事の場合は不要）
☐ (5) 前各号に掲げるもののほか，町長が必要と認める書類

様式第 1 1 号（第 1 1 条関係）

令和 7 年 1 1 月 3 0 日

海 田 町 長 様

工事監理報告書

氏 名 海田 二郎

建築士登録番号 （ 1 級 ） 建築士登録 第 00000 号

所属する建築士事務所の名称 海田建築設計事務所

令和 7 年 4 月 1 6 日付け指令海まち第 0 0 0 号で交付の決定のあった補助金に係る次の木造住宅に対する耐震改修工事等について，工事を適正に監理し，当該耐震改修工事等が令和 7 年 4 月 1 日付けで提出した耐震改修計画書のとおり実施されたことを確認しましたので，海田町木造住宅耐震化促進支援事業補助金交付要綱第 1 1 条の規定により報告します。

1 木造住宅の所在地

安芸郡海田町南昭和町 1 4 - 1 7

2 用 途 ☐一戸建ての住宅

☒併用住宅

（居住の用に供する部分以外の部分の用途：美容院

☒店舗 ☐事務所 ☐その他（ ））

注 不用の文字は，二重線で消すこと。

令和 7 年 1 2 月 2 0 日

海 田 町 長 様

海田町木造住宅耐震化促進支援事業補助金交付請求書

住 所 安芸郡海田町南昭和町 1 4 - 1 7
請求者 氏 名 海田 太郎 印
電話番号 (0 8 2) 8 2 3 - 3 1 5 7

令和 7 年 1 2 月 1 0 日付け指令海まち第 0 0 0 号で補助金額の確定通知を受けた海田町木造住宅耐震化促進支援事業補助金について，海田町木造住宅耐震化促進支援事業補助金交付要綱第 1 3 条の規定により，次のとおり請求します。

補助金交付請求額	1, 1 5 0, 0 0 0 円
----------	-------------------

金融機関名 店 舗 名	〇〇銀行・金庫 農協・組合				〇〇支店・金 庫 支所・出張所			
預金種別 口座番号	普通・当座	0	0	0	0	0	0	※右詰めで記入 すること。
フリガナ	カイタ タロウ							
口座名義人	海田 太郎							

※口座名義は請求者本人のものとしてください。

広島県住宅耐震化促進支援制度の利用者アンケート

通し番号

- * 今回、耐震化工事を実施し、市町より工事費補助金が交付される方を対象に、アンケートを実施するものです。
- * 当アンケートは広島県が作成しており、今後、広島県が住宅耐震化促進支援制度を実施する上で、参考資料とするものです。
- * 回答頂いた内容については、目的以外に使用することはありません。
- * 各設問の該当する選択肢をチェックしてください。

1. 利用者に関すること

① あなたの年齢を教えてください。	(36) 歳 [申請年度4月1日時点]
② あなた自身を含めた、同居家族の人数を教えてください。	☐ 1人暮らし(同居の家族はいない) ☐ 2人 ☐ 3人 ☒ 4人 ☐ 5人以上
③ 同居のご家族を教えてください。	☐ 同居の家族はいない ☒ 配偶者 ☒ お子様 ☐ 父親(配偶者の父親を含む) ☐ 母親(配偶者の母親を含む) ☐ 祖父母 ☐ 孫 ☐ 兄弟姉妹 ☐ その他 ()

2. 耐震化工事を実施した住宅に関すること

① 構法	☒ 在来軸組構法 ☐ 伝統的構法 ☐ 枠組み壁構法
② 用途	☐ 専用住宅 ☒ 併用住宅
③ 延べ面積	(120) m ² ※小数点以下切り上げ
④ 階数	(2) 階
⑤ 建築時期	昭和 (53) 年 (7) 月
⑥ 耐震化前の上部構造評点	(0.36) 点

3. 耐震化工事の内容に関すること

① 施工業者を教えてください。	業者名 (海田建設株式会社) 所在地【市町名】 (海田町)
② 実施した耐震化工事の内容はどのようなのですか？ ※複数回答可	☒ 耐力壁(筋交い、耐力ボードなど)の新設 ☐ 金物類の新設 ☐ 基礎の補強 ☐ 屋根の葺替 ☐ 劣化部分の補修 ☐ 減築 ☐ その他 () ☐ 現地建替え工事 ☐ 非現地建替え工事 ☐ 除却工事
③ 耐震改修工事のほかに、リフォーム工事を併せて実施しましたか？	☒ 実施した (リフォームの内容: 内装改修工事) ☐ 実施していない ※建替え・除却工事のかたはこちらを選んで下さい。
④ 工事に要した費用はいくらですか？	総額 約 (3,000 千円) ※現地 うち耐震改修工事の費用 約 (2,000 千円)
⑤ 耐震改修工事を実施した最も大きなきっかけ(動機)は何でしたか？ ※いずれか1つのみ回答下さい。	☒ お住まいの市町村に、補助制度があることを知ったから ☐ 耐震診断の結果が悪く、不安だったから ☐ リフォーム工事を実施したので、そのタイミングに合わせたから ☐ その他 (内容:)

4. その他

⑥ この支援制度の情報をどこで知りましたか？	☐ チラシ・新聞等の広告 ☒ 県・市・町のホームページ ☒ 紹介・口コミ ☐ 施工業者 ☐ その他 ()
⑦ ご意見や感想がございましたらご自由にお書きください。	

* ご協力ありがとうございました。

別紙

令和 7 年 4 月 1 日

〇〇〇市町長様

申請者 住所 安芸郡海田町南昭和町 1 4 - 1 7

氏名 海田 太郎

（市町補助金事業名を記載）の交付に当たり、次のことを誓約します。これに反した場合は補助金の交付決定が取り消されても異議はありません。

- 1 補助対象工事（耐震改修，~~現地建替~~，~~非現地建替~~）は，補助対象住宅の販売を目的としたものではありません。
- 2 工事の完了後も申請者は県内に居住します。
（工事完了後の住所（予定）：広島県安芸郡海田町南昭和町 1 4 - 1 7）
※申請者が法人の場合は，県内の本社，営業所等の住所を記載
- 3 申請者は地震に対して安全な構造である住宅へ転居します。
※ 除却の場合のみ 除却以外はこの項目は削除
- 4 申請者は補助対象住宅の所有者若しくは居住者であることを，完了実績報告までに必要書類（例：住民票・登記簿謄本の写し）をそろえて証明します。
※ 補助交付申請の時点で必要書類の添付が無い場合のみ
- 5 補助対象住宅が現に居住の用に供する住宅であることを，完了実績報告までに必要書類（例：住民票の写し）をそろえて証明します。
※ 補助交付申請の時点で必要書類の添付が無い場合のみ